

からこんにちは！

西ノ島小学校

西ノ島を生かした

ふるさと教育

3年生

社会科の学習では、地域の産業を扱っています。西ノ島ではどんな人がどんなところでどんな仕事をしているのか、西ノ島に住んでいても初めて知ることも多いようです。今回は西ノ島にある「海藻加工センター」について勉強しました。海からとれた海藻がみんなの食卓に届くまでを写真やインタビューから知りました。

今回の授業では栄養教諭の古谷先生に協力してもらい、西ノ島のかめをみそ汁と湯通しわかめにして味わいました。



6年生

《歴史を学ぶ校外学習》

社会科では、西ノ島にゆかりのある後醍醐天皇について学ぶため碧風館や黒木御所址に行きました。総合的な学習の時間では、平和学習の一環として、斎場の奥にある塹壕や摩天崖にある監視所跡を見に行きました。社会では碧風館におられる角市さん、総合では口村さんに講師としてお話をさせていただきました。

西ノ島に住んでいても知らないことが沢山あり、子ども達は興味津々で話を聞いていました。西ノ島の人達の昔の暮らしぶりが見えて、西ノ島に誇りを持つことができたように思います。今後も校外に出かけて、学校では学べないことを沢山知って欲しいと思います。



4年生・5年生

クラブノアで海洋スポーツを行いました。講師の松新さんやクラブノアの方々に丁寧に指導して頂き、回数を重ねる毎に上達し、安全に楽しく活動できました。

初めて体験する4年生は、ロープワークの難しさやヨットの乗り方に不安な表情を見せていましたが、海へ出る頃には風を読みながらヨットを操作しました。

5年生は、今年度江府町との夏の交流は無くなりましたが、来年度の交流に向けて一生懸命に取り組むことができました。身に付けた知識と技術を存分に活かして、江府小学校の児童と交流する姿を楽しみにしています。



《海水浴の危険を学ぶ着衣水泳》

夏休みを迎えるにあたり、安全に海水浴を行えるよう、6年生は体育の授業で外浜海水浴場にて着衣水泳を行いました。「海水浴の危険についての理解」「万が一の事故の際に自分の命を自分で守る」ことを身につけさせることをねらいとしています。

着衣の状態だと泳ぎにくいことを水深の浅いところや深いところで、練習し実感しました。危険を伴う学習のため、地域ボランティア6名の方が見守り活動をしてくださいました。ボランティアの中には、救急救命士の方や看護師の方もおり、心強く、子ども達も安心して学習に取り組むことができました。





西ノ島小学校 西ノ島中学校

西ノ島中学校

1学期を振り返って

3年 長田 快斗

1学期は新型コロナウイルス感染症でいろいろな行事がなくなりました。しかし、3年生は気持ちを落とさずに何事にも一生懸命取り組みましたので良かったです。特に、3年生のよさを実感できたのは、学級旗づくりです。みんなで協力してとてもいいものができました。

2学期は行事も多く、小学生と関わる機会も多くなると思います。学年を超えて協力し、下級生を引っ張っていけるよう頑張りたいです。

2年 田口 美緒

2年生のいいところは、明るく楽しい雰囲気なところだと思います。しかし、時々友達の良いところを言っていることがありました。気になつてはいましたが、注意することができませんでした。

2学期は、悪口を言わないクラスにしたいです。そのために、私自身が努力をし、勇気を出して注意ができるようになりたいです。



1年 岸本 丈

僕が1学期に頑張ったことは、勉強です。新型コロナウイルスの影響で、中間テストがなくなり、期末テストが初めてのテストでした。テスト範囲が広く、課題も多くてみんなビクビクしていました。僕は、計画的に勉強してテストに臨むことができました。テストを受けてみて、普段から勉強をするのが大切だと思いました。クラスみんなが家庭学習もきちんとし、毎日の授業もしっかり受けるようにしていきたいです。



部活動交流戦決起集会の様子

外浜清掃を行いました

7月2日、西ノ島町観光協会の方にご協力いただき、小学校5、6年生と一緒に外浜清掃を行いました。9つの班に分かれて落ちているゴミを拾い、時には重いゴミを何往復もかけて運んで外浜をきれいにしました。

中学生はゴミの集め方など指示を出したり、声かけをしたりと、協力して取り組んでいました。途中、観光協会から飲み物の差し入れがあり、休憩をはさみながら、約1時間集中して清掃活動を行いました。最後に生徒代表として3年生の平木海くんが「今日清掃活動をしたからこれで終わりではなく、これからもきれいな景観を保つためにできることをしなければならぬ。」と話してくれました。ジオパークとしても価値のある西ノ島の海岸を守ろうという意識が高まった1日でした。

(文責：能海)

小中一貫教育にむけて

小中連携部会の中の学力向上部会では、小学校がKJW(家庭学習充実週間)・生活リズムチェック、中学校がMD&SU(メディアダウン&スタディーアップ)の取り組みを行いました。発達段階に応じた家庭学習への取り組み方を系統的に指導することで、進路実現に向け、計画的・主体的に取り組む力を育てることをねらっています。具体的には、家庭学習時間や睡眠時間、メディアの時間を1週間記録し、自己目標達成を目指す活動です。集計結果は個人ファイルに記録し、保護者との面談で活用したり、長期休業中の目標決めに利用したりしています。小学校1年生から中学校3年生まで継続して取り組むことで、少しずつ子どもたちの家庭学習への意欲の向上を図りたいと思います。

(文責：永海)

